

情報システム学会 10周年記念 第11回全国大会・研究発表大会 招待講演

講演者：徳田英幸氏

所属：慶應義塾大学環境情報学部教授

<タイトル>

IoT/CPSとソーシャルオープンデータによるスマートシティの創出

<概要>

IoT/CPS (Internet of Things/Cyber-Physical Systems)によりモノ、人、プロセス、データなどの連携による新たなサービスの創出や実世界とサイバー世界との融合が加速されてきている。一方、国や地方自治体といった公共機関等が保有しているデータは、貴重な資産や資源であるにも関わらず、現在、必ずしも有効かつ迅速に活用されていないのが現状である。

本講演では、これらのIoT環境とソーシャルオープンデータなどを活用し公共サービスの質的向上、市民のQoLの向上、レジリエントなスマートシティの構築などに関して、EU-Japanプロジェクト(ClouT)やNICTソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術開発プロジェクト(SODA)の成果などを交えて課題と今後の方向性について述べる。

<略歴>



1975年慶應義塾大学工学部卒。同大学院工学研究科修士。ウォータールー大学計算機科学科博士 (Ph.D. in Computer Science)。米国カーネギーメロン大学計算機科学科研究准教授を経て、1990年慶應義塾大学環境情報学部勤務。慶應義塾常任理事、環境情報学部長、大学院政策・メディア研究科委員長を経て、現職。専門は、ユビキタスコンピューティングシステム、OS、Cyber-Physical Systems、IoT等。情報処理学会フェロー、日本ソフトウェア学会フェロー。現在、情報処理学会副会長、日本学術会議会員、内閣官房情報セキュリティ補佐官などを務める。研究教育業績に関して **Motorola Foundation Award**, **IBM Faculty Award**, 総務大臣賞、経済産業大臣賞、情報処理学会功績賞、情報セキュリティ文化賞などを受賞。